

〔 横浜市民ギャラリーあざみ野 〕
平成 27 年度業務報告及び収支決算
〔 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 〕

- ※ 文中の事業欄において、
●：主催事業。○：共催事業
を示します。
- ※ 文中の達成指標、達成状況欄において、
□：定量的指標。■：定性的指標
を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市民ギャラリーあざみ野
所在地	青葉区あざみ野南一丁目 17 番 3 号
構造・規模	鉄筋鉄骨コンクリート造地上 3 階・地下 1 階
敷地・延床面積	敷地面積 4,283㎡ 延床面積 7,899㎡／専有面積 1,975㎡
開館日	平成 17 年 10 月 29 日

2 指定管理者

団体名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町 2 番地 産業貿易センタービル 1 階
代表者	理事長 澄川 喜一
代表者設立年月日	平成 3 年 7 月 10 日
指定期間	平成 27 年 4 月 1 日から平成 32 年 3 月 31 日まで

3 指定管理に係る業務総括

(1) 基本的な方針の総括

横浜市が進める「文化芸術創造都市の全市展開」における地域活性化のモデルケースとして、指定管理期間第 3 期の基本コンセプト「アートでつなぐ横浜らしいまちづくり」の実現に向け、次の 3 つの基本的考え方を柱として、より一層の魅力・活力の創出に取り組みました。

1. アートで横浜らしいまちづくり

「あざみ野コンテンポラリー」や「あざみ野フォト・アニュアル」など横浜らしい特色のある芸術文化を横浜の北部地域から発信し、まちの賑わい作りや、アーティストと市民の交流、コミュニティの活性化に貢献しました。

2. アートで子どもの育みを応援

企画展&ワークショップの「あざみ野こどもぎやらりい」やアトリエで実施する多彩なワーク

ショップ「子どものためのプログラム」、地域の小学校等へのアウトリーチ展開等により、子どもたちの豊かな感性や創造性、表現力、コミュニケーション能力、思いやりの心、自立心の育みを応援しました。

3 すべての人に開かれた運営

横浜市男女共同参画センター横浜北（以下「センター横浜北」）と共に、年齢、性別、人種、国籍、障がいの有無などに関係なくすべての人を受け入れ尊重し、開かれた施設運営を行いました。そのような取り組みの集大成とも言える、秋の「アートフォーラムフェスティバル」を実施し、多くの市民で賑わいました。

また、年間を通じて障がい者アートを紹介し、福祉団体を支援してきた活動が評価され、「厚労省 障害者の芸術活動支援モデル事業」に協力委員を依頼され講座をもつほか、横浜市岩間市民プラザでの出張展示、赤レンガ倉庫での出張マルシェの依頼を受け実施しました。当館の障がい者支援の取り組みを広く発信し、横浜市内外のソフトのバリアフリー化を推進する一助となることができました。

(2) 27年度の業務の方針及び達成目標の総括

① 事業の総括

本年度は3本企画展を行い、盛況のうちに終了しました。夏にアーティストの作品鑑賞やワークショップ等の交流を通じて子どもたちの心の成長を育む「あざみ野こどもぎやらりい」を実施し、連日多くの子どもたちで賑わいました。「あざみ野コンテンポラリー」では、国内外で活躍する6人の作家による映像作品を中心とした多彩な内容で開館10周年を祝いました。また「フォト・ヨコハマ 2016」パートナーイベントとして開催した「あざみ野フォト・アニュアル」では、第40回木村伊兵衛写真賞を受賞した気鋭の作家「石川竜一展」と横浜市所蔵カメラ・写真コレクション展「『自然の鉛筆』を読む」を紹介し、多数のメディアに話題を提供するとともに、多数のご来場をいただきました。

アトリエでは、小学生以下の子どもを対象とした「子どものためのプログラム」と大人を対象とした「市民のためのプログラム」を通年で実施しました。

「子どものためのプログラム」では、さまざまな日用品や材料を使った絵画、陶芸、写真、モノの制作などのワークショップ等を実施し、身近にアートに接する機会を提供しました。低年齢層に人気の「親子のフリースペース」では、過去最高の1万人を超える参加者を迎えることができました。地域の特別支援学校や個別支援学級を対象としたワークショップを多数実施し、その活動を支援しました。また、「市民のためのプログラム」では、カメラ、デッサン、水彩画、金継ぎなどの質の高いワークショップを実施し、市民の日常に楽しみや彩りを添えるお手伝いをしました。

その道のエキスパートを招いて実施する講座「あざみ野カレッジ」では、現代アートの鑑賞やオペラ入門講座や神奈川県酒蔵による酒造りを紹介するなど、参加者の知的好奇心を刺激するとともに新たな交流の場を提供しました。また、センター横浜北との協働で複合施設の特徴を活かした毎月2回のロビーコンサートやレクチャールームを活用したコンサート等を開催し、まちの賑わいを創出しました。

また、開放的なロビーを活かし、カメラ・写真コレクションをテーマ別に紹介するミニ展示や

若手アーティスト等の作品を紹介する展示も実施しました。特に、平成22年から継続実施している「フェローアートギャラリー」は、「厚労省 障害者の芸術活動支援モデル事業」に協力委員として参加、講座を持つなどに発展。外部との連携を深め、ネットワークを強化しています。

② 運営の総括

利用者の居心地のよい施設運営のためにセンター横浜北と日常的に協働しながら利用者の提案や苦情などに対応し、サービス向上に継続的に取り組みました。

展覧会の案内用ポストカードの専用の棚を設置し、展覧会風景を当館のホームページで紹介するなど、利用団体の集客をお手伝いする取り組みを始めました。専門スタッフを配置している当館の特徴として、芸術文化活動の成果が最大限発揮できるよう利用者の目線に立って希望を受け止め、必要とする市民に企画から展示、撤収まで、多様な専門的なサポートを行いました。

また、横浜市所蔵カメラ・写真コレクションについて、未整理品の計画的な調査・整理・データベース化の実施、収蔵品の保存・管理・活用を適切に行いました。

③ 管理の総括

センター横浜北および管理委託会社とともに、設備や備品の適切な保守管理を行い、利用者に影響を与えるようなトラブル、事故ゼロを実現し、展示パネルなどのメンテナンス、修繕もスムーズに行いました。環境への取り組みは継続して推進し、エネルギー消費量を削減するとともに、地域の子供や高齢者が安心して利用できるように職員全員による安全管理の推進など、安心で明るく使いやすい施設管理に取り組みました。

④ その他の総括

ホームページ更新、ブログやフェイスブックの頻度を高め、内容充実を図るなど活発に情報発信し、利用者の利便性も向上させました。また、来館者意見、アンケートなどを精査し、現状の確認に努めることなどにより、常に来館者の視点に立ち、センター横浜北との連携を図りながら、施設運営・事業展開の両面において成果を上げました。

4 業務の取組との達成状況

(1) 事業について

ア 市民の文化芸術活動の支援について

[目指す成果]

- ・初心者にも専門性の高い講座を希望する方々にも応える幅広い美術創作プログラムを開催し、創作の楽しさを実感していただくことで、市民にとってアートをより身近に感じていただけるようにします。
- ・さまざまな人たちが集まり、アートを楽しく学びながら、人と人の豊かなつながりや新たな活動が生まれる場となります。
- ・都心部のフェスティバル事業との連携企画や、複合施設の特徴を活かした舞台系事業や新たな映画鑑賞事業を実施し、アートフォーラムあざみ野の賑わいを創出するとともに新規顧客を開拓します。
- ・アートを使った市民交流やコミュニティの活性化に努め、まちづくりにアートの力を活かします。

[成果についての振り返り]

- ・美術創作プログラムやカレッジでは、入門からエッジの効いたものまで数多く企画し、多くの講座で定員を超える申し込みをいただきました。講座を通じて、参加者同士の交流、アーティストと市民の交流が生まれ、参加者自身の創作活動に広がりが生まれています。

- ・ダンスダンスダンスとの連携事業や音楽公演、アートシネマなど、美術制作以外のジャンルにも積極的に取り組みました。これにより、初めて来館された方、講座に初めて参加された方も数多く見受けられました。
- ・あざみ野カレッジでは生活に密着した様々なアートを紹介。特に「街を描いて街を知る」ではアートで街を再発見する作家を講師に、身近な風景写真を基に絵を描くことで住み慣れた街を再発見する機会になりました。

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●市民のためのプログラム</p> <p>初級者向けの、絵画・陶芸・版画・写真等の基礎を習得するワークショップ、中級者向けの技術や表現の向上をアーティストから学ぶワークショップなど</p> <p>●「あざみ野カレッジ」</p> <p>アートの領域を広げ、生活の中にあるさまざまなテーマをとりあげる学びの場</p> <p>●あざみ野サロン</p> <p>レクチャールームなどで舞台系事業や女性をテーマにしたイベントを実施</p>	<p>□市民のための講座・ワークショップ</p> <p>年間 10 コース以上</p> <p>年間参加者 延べ 700 名以上</p> <p>平均満足度 4.6 以上</p> <p>□あざみ野カレッジ</p> <p>年間参加者 150 名以上</p> <p>平均満足度 4.5 以上</p> <p>□あざみ野サロン</p> <p>音楽、映像、その他舞台系事業を各 1 事業以上</p> <p>□「ダンスダンスダンス@ヨコハマ」連携企画 1 回</p>	<p>●市民のためのプログラム</p> <p>□年間12コース、参加者数：延815人</p> <p>■平均満足度：4.84（5点満点）</p> <p>4/14～6/9 デジタル一眼カメラ</p> <p>5/7～7/23 はじめてのデッサン</p> <p>10/18 刺繍作家・青山悟と油絵を描こう</p> <p>11/2～12/21 はじめての透明水彩</p> <p>11/21～1/9 乳喫茶（陶芸）</p> <p>1/15～3/18 金継ぎ入門</p> <p>2/14 タルボットの時代のフォトグラム</p> <p>4/8～3/23 ヌードクロッキー 5コース</p> <p>●あざみ野カレッジ</p> <p>□参加者数：241人</p> <p>■平均満足度：4.65（5点満点）</p> <p>5/30 デザインで伝えるいきもの世界</p> <p>7/26 街を描いて街を知る</p> <p>10/25 現代アート鑑賞 はじめの一步</p> <p>11/2 米づくりから始まる日本酒の物語</p> <p>12/12 よみがえる！なつかしの歌声喫茶</p> <p>1/16 演出家が語る総合芸術オペラのあれこれ</p> <p>2/20 写真集ができるまで</p> <p>●あざみ野サロン</p> <p>□事業数：年間 6事業</p> <p>音楽：2、映像：2、落語：1、講演：1</p> <p>8/9 日用品で音楽会</p> <p>9/18 アートシネマ①アルゴス・コレクション</p> <p>10/3 金原亭馬玉独演会</p> <p>○10/25 五大路子講演会 ※センター横浜北企画</p> <p>11/7 アートシネマ②鈴木光 特集上映会</p> <p>3/26 春よ来い～大山大輔と沼尾みゆきの～</p> <p>●「ダンスダンスダンス@横浜」連携企画</p> <p>□ 1事業（WS：8回、発表） ※詳細「エ」に記載</p> <p>初回から99日間、1日1つの“振り”を作り自分だけのダンスを創作。8/23アートフォーラム全館を会場</p>

<p>●地域アウトリーチ事業</p> <p>地域で活躍する市民と協働し、アートを通した市民の交流、まちの賑わいづくり。(地域の祭りやイベントへの参加を含む)</p>	<p>□地域アウトリーチ事業</p> <p>2回以上</p>	<p>に、成果発表しました。</p> <p>●地域アウトリーチ</p> <p>□年間 4回</p> <p>5/26・6/3・17・26・7/3 山内小学校 写真ワークショップ、「自分の思いと写真」展</p> <p>6/11 つづきMYプラザ 造形活動；ちくちく地区外国語版</p> <p>8/29 あざみ野まつり 地域のイベントに地元の大学と参加・協力</p> <p>11/27～12/12 岩間市民プラザ フェローアートギャラリーvol.20 特別展示</p>
--	--------------------------------	---

イ 子どもたちをはじめとする次世代育成について

<p>[目指す成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アートを通して子どもの感性を磨き、主体性を伸ばすとともに、創造の喜び、コミュニケーション力、思いやりの心を育みます。 ・子どもたちにアートの体験を提供することで、将来に向けてアートに親しむ市民を育みます。 ・学校教育と連携し、鑑賞事業や教師を対象にした鑑賞・実技のワークショップを実施して学校現場での次世代育成をサポートします。 <p>[成果についての振り返り]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上手に描きつくることよりも「自己表現」したくなる気持ちを重視したプログラムを実施。子どもの対象年齢や学齢を細分化したプログラムは、集中力、発想力を育て、子ども同士が協力しあう場になりました。 ・成長にあわせて取り組む内容が異なるためリピーターも多く、多くの講座で定員を超える申し込みとなりました。 ・市が実施している「横浜市芸術文化教育プログラム」のほか、施設独自のアウトリーチや教師のためのプログラム、学校利用を通して学校と連携。子どもたちには、アーティストを通して学校の活動とは異なる視点で表現に触れる機会になり、施設にとっては、美術に興味のない児童にもアートの楽しさを知っていただく機会になりました。 		
<p>[取組内容]</p> <p>●企画展「あざみ野こどもぎやらりい2015」(8月)</p> <p>子どもから大人まで楽しめる内容の、自由参加型のワークショップもある展覧会</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□「あざみ野こどもぎやらりい2015」</p> <p>来場者 3,000人以上</p> <p>□身体表現ワークショップ</p> <p>を1回以上実施</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>●7/31～8/9「あざみ野こどもぎやらりい2015」</p> <p>□来場者数：3,583人</p> <p>[展示]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あざみのふたご森 ・夏の音楽ジッケン室 ・ちくちく地区の“かたちたち” ・「自分の思いと写真」展 <p>[ワークショップ]</p> <p>□事業数：5 うち、身体表現★：2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あざみのふたご森 <p>7/31, 8/1, 3～9 森に住んでいる生き物を描く。</p>

<p>●子どものためのプログラム</p> <p>・親子のフリーゾーン</p> <p>・親子で造形ピクニック (個別支援学級や特別支援学校に通う親子を対象) 親子が粘土、紙、絵の具で遊べる造形・創造活動の場</p> <p>・ワークショップ プログラムごとに対象年齢を設定し、体験することを大切にした幼児・児童向けの多彩な講座</p>	<p>□フリーゾーン、造形ピクニック</p> <p>年間参加者 延べ8,500人以上</p> <p>□ワークショップ</p> <p>年間 10講座以上 年間参加者 延べ500人以上 平均満足度4.6以上</p>	<p>絵がヌイグルミオブジェになって森が賑やかに。</p> <p>・夏の音楽ジッケン室</p> <p>7/11 粘土で楽器をつくってみよう</p> <p>8/1 紙で太鼓をつくってリズムであそぼう★</p> <p>8/7～9 身のまわりの音と楽器であそぼう★</p> <p>・ちくちく地区の“かたちたち”</p> <p>7/31, 8/1～9 切り抜いた文字と穴を取り換えてくっつける。ぴったりズレるかたちをアートに。</p> <p>[事前アウトリーチ、サポーター活動]</p> <p>5/19～8/9 ふたごのこぼれ種募集</p> <p>6/20～7/28 ちくちく地区@サポーター制作補助</p> <p>5/26～7/3 写真ワークショップ@山内小学校 ※再掲</p> <p>6/11 ちくちく地区外国語版@つづきMYプラザ ※再掲</p> <p>●子どものためのプログラム</p> <p>■年間参加者 計10,773人</p> <p>●親子のフリーゾーン</p> <p>□年間 37回、参加者数：10,521人</p> <p>4/8、22、29、5/13、27、31、6/10、24、28、7/8、12、22、8/2、5、26、9/2、13、16、10/7、12、21、25、11/4、15、18、12/2、6、16、1/6、11、20、2/10、24、28、3/9、13、23</p> <p>●親子で造形ピクニック</p> <p>□年間 12回、参加者数：252人</p> <p>4/18、5/9、6/13、7/18、8/22、9/26、10/31、11/21、12/12、1/23、2/13、3/26</p> <p>●ワークショップ「子どものためのプログラム」</p> <p>□年間 16講座、参加者数：631人</p> <p>■平均満足度 4.80 (5点満点)</p> <p>[小学1～3年生]</p> <p>4/29 ペーパーフラワーをつくろう！</p> <p>7/12 パステルをつくろう！</p> <p>10/12 ぶらさがり人形をつくろう！</p> <p>2/28 フェルトをつくろう！</p> <p>[幼稚園・保育園の年長組相当の幼児]</p> <p>5/31 見て、さわって、描く</p> <p>11/15 ホチキスでとめて、とめて</p> <p>1/11 焼き物をつくろう！</p> <p>[幼稚園・保育園の年中組相当の幼児]</p>
---	---	---

<p>●アウトリーチ アーティストと一緒に 「横浜市芸術文化教育 プログラム」に協力</p> <p>●学校教育との連携 小・中学・高校の美術の 先生との連携、研修への 協力</p>	<p><input type="checkbox"/>アウトリーチ(芸術文化教育 プログラム) 3校以上</p> <p><input type="checkbox"/>先生のためのワークショ ップ 1回</p>	<p>6/28 えのぐであそぼう！ 12/6 ねんどであそぼう！ 3/13 つなげて、ならべてあそぼう！ [小学4～6年生] 8/18～20 スイカを描く木版画教室 9/19・20 ピンホール写真を撮ろう！ [小学3～6年生] 子どものための鑑賞会&ワークショップ 10/31 あざみ野コンテンポラリーvol.6 「展覧会を体験しよう！」 2/13 あざみ野フォト・アニュアル 「フォトグラムをつくろう！」 [市民協働のワークショップ 4歳以上] 7/4・5 七夕飾りをつくろう！ 12/19・20 みんなでつくる あったかクリスマス</p> <p>●学校アウトリーチ 教育プラットフォーム <input type="checkbox"/>4校実施 9/28・30 荏田小学校(ダンボールモビール) 10/1・6・14 すみれが丘小学校(造形活動) 11/11・16 中川小学校特別支援学級(絵の具の活動) 1/15・19・21 新羽小学校(ダンス)</p> <p>●先生のためのワークショップ <input type="checkbox"/>年間 1回、参加者数：20人 7/31 横浜市中学校美術研究会 夏期研修 「アニメーションの活動」</p> <p>●学校利用 養護学校や特別支援学級を受入れ、アトリエでの美 術造形活動プログラムを無償提供しました。 <input type="checkbox"/>年間15校、延18団体、参加者数：340人</p>
--	---	---

ウ アーティスト・クリエイターの支援と創造性を活かしたまちづくりについて

[目指す成果]

- ・新しい表現に取り組む才能豊かな新進アーティストを発掘し、発表の機会を提供することで、飛躍のきっかけとします。
- ・市民とアーティストの交流の場や、若手アーティストや障がいのある人たちのアート作品を発表する場を提供し、アートを介してさまざまなネットワークが広がる場を創出します。
- ・すべての人に開かれ、親しみやすく賑わいのある場をつくり、さまざまな市民協働事業の相乗効果で来館者が増加します。

・センター横浜北との協働関係をさらに強化し、文化芸術と男女共同参画の理念を融合した事業や新たな利用者を開拓する事業を展開することで、魅力あるまちづくりにつなげます。

[成果についての振り返り]

・新進アーティストの作品を紹介するとともに、企画展ではトークの機会や市民との交流の場を設けることで、より作家や作品を身近に感じ、理解することにつながりました。若手アーティストにとっても作品世界を伝え、市民と直接触れ合う貴重な機会となりました。

・障がいのある人たちの作品を通年で展示紹介したり、企画展では視覚に障がいのある人とない人が共に作品鑑賞したりすることを通して、障がいのあるなしを超えた豊かな関係性が築かれていくことを目指し、成果を上げました。NPO 法人スローレーベル主催の「厚労省 障害者の芸術活動支援モデル事業」に協力委員として参加。講座をもつなど、外部との連携を深め、ネットワークを強化しました。

・開館 10 周年にあたり、多彩なプログラムや地域の団体との協働で新たな利用者を増やしました。

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●企画展の関連事業、トークイベント</p>	<p>□コンテンポラリー展と写真展会期中に、市民とアーティストが交流する事業、トークイベント、ワークショップなどを実施。</p> <p>年 4 回</p>	<p>●市民とアーティストが交流するイベント</p> <p>□年間 5回</p> <p>「あざみ野コンテンポラリーvol. 6」</p> <p>10/17 オープニングトーク、レセプション</p> <p>10/18 WS 「刺繍作家・青山悟と油絵を描こう！」</p> <p style="text-align: right;">※再掲</p>
<p>●ショーケースギャラリー</p> <p>ホワイエに設置した展示ケースで、新進アーティストの小品展を実施</p>	<p>□ショーケースギャラリー</p> <p>年 4 回</p>	<p>●ショーケースギャラリー</p> <p>□年間 4回</p> <p>4/11～7/2 橋本典久展「箱の中の箱」</p> <p>9/26～11/16 山田裕介展</p> <p style="text-align: center;">「無意識の彫刻(質量の変わらない世界)」</p> <p>11/21～1/17 金理有展「チヨリ チトチチ」</p> <p>1/23～3/20 楊珪宋展</p>
<p>●フェローアートギャラリー</p> <p>障がいのある人たちの作品を紹介</p>	<p>□フェローアートギャラリー</p> <p>年 4 回 (vol. 17～19, 21)</p>	<p>●フェローアートギャラリー</p> <p>□年間 4回</p> <p>5/3～7/24 Vol. 17 アトリエjet's 岡田隆之展</p> <p>7/26～10/3 Vol. 18 尾崎文彦展「むふふなカタチ」</p> <p>10/5～1/9 Vol. 19 中道一輝展</p> <p>1/11～4/18 Vol. 21 飯塚二朗展</p> <p>※vol. 20は地域アウトリーチ</p>
<p>○ロビーコンサート</p> <p>横浜市民広間演奏会のメンバーや地域の方々</p>	<p>□ロビーコンサート</p> <p>年 24 回</p>	<p>●ロビーコンサート</p> <p>□年間 25回</p> <p>4/12、26、5/10、24、6/14、28、7/12、26、8/9、23、</p>

<p>にもご出演いただく気軽で楽しいコンサート</p> <p>○ジュニアコーラス (ワークショップ&コンサート)</p> <p>○あざみ野マルシェ/アートワゴン アーティストや障がいのある人たちのアート作品を発表・販売。</p>	<p>□ジュニアコーラス 1コース(ロビーコンサート)で成果発表)</p> <p>□あざみ野マルシェ/アートワゴン 年8回以上</p>	<p>9/13、27、10/11、25、11/8、22、12/6、13、23、1/10、1/24、2/14、2/28、3/13、3/27に開催</p> <p>●あざみ野クリスマスジュニアコーラス2015 練習：11/3、7、14、21、28、12/5、12、19、20 発表会：12/23 ※ロビーコンサートに含む</p> <p>●あざみ野マルシェ/アートワゴン 福祉施設の活動を紹介。障がい者が育てた野菜やカラダにやさしい食品、アートな表現がひかる作品を市民に届け、大勢のお客様で賑わいました。</p> <p>□年間 9回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マルシェ：5/31、8/5、10/25、11/26 ・アートワゴン：4/26、6/28、8/2、12/6、1/17 <p>●障がい者に開かれたアート環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視覚に障がいがある人とない人が共に楽しむ鑑賞会「アートなピクニック」を企画展で開催。 <p>□年間 2回</p> <ul style="list-style-type: none"> 11/7「あざみ野コンテンポラリーvol.6」 2/6「あざみ野フォト・アニュアル 石川竜一展」 <ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省障害者の芸術活動支援モデル事業(スローレーベル)に協力。講座を実施しました。 <p>●地域で活動するボランティア団体、女性起業家を紹介。市の地産地消の取り組みにも協力しました。</p> <p>2/1~7 あおばおもちゃのひろば活動展 通年 アートプラザのお弁当屋さん</p>
<p>○「アートフォーラムフェスティバル2015」 全館あげての大型イベント</p> <p>○大学連携事業 横浜北部地域の大学と連携し、ワークショップやイベント参加に取り組む</p>	<p>□アートフォーラムフェスティバル 参加団体30以上 来場者3,000人以上</p> <p>□大学連携事業 3回</p>	<p>●アートフォーラムフェスティバル</p> <p>□参加団体：50団体、59企画 □来場者数：3,764人</p> <p>●大学連携</p> <p>□年間 4校、4回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国学院大学・横濱桐蔭大学；あざみ野まつり参加 ・城西国際大学：メディア学部による、企画展紹介映像制作と公開 2本 <ul style="list-style-type: none"> ・あざみ野コンテンポラリーvol.6 ・あざみ野フォト・アニュアル ・東京芸術大学：大学主催のシンポジウム「近現代美術の保管修復：世界の潮流と日本の課題」に首席学芸員が参加。講演。

エ 横浜らしい先進的な文化芸術の市民への発信について

<p>[目指す成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「横浜らしさ」をコンセプトに進取の精神に富んだ事業を実施し、「誇れるまち・住み続けたいまち」の進展に貢献します。 ・都心部のフェスティバル事業と連携した企画によって、イベント周知や盛り上げの相乗効果を発揮し、横浜の魅力を横浜北部地域からの発信役を担います。 ・市民がアートに出会う場を提供し、芸術文化を身近に鑑賞・体験できる拠点としての機能を発揮します。 ・市民とアーティストや作品との距離を縮め、アートを身近なものにするとともに、同時代に創造されているアートと生活の関係性を深め、アートの振興に貢献します。 <p>[成果についての振り返り]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進取のコンテンポラリーアートを紹介する企画展では、日本と中国のアーティスト6名—青山悟、斎藤玲児、友政麻理子、凌宗権、和田昌宏、王坪によるグループ展を開催。注目の美術作家たちが現代社会にヴィヴィッドに反応した、映像作品など全27点による刺激的な展示となりました。 ・平成26年度に実施した、「あざみ野コンテンポラリーvol.5 ハンス・ライヒェル×内橋和久 Listen to the Daxophone」の展示作品《ein Wald von Daxophone—ダクソフォンの森》(内橋和久)が、平成27年度文化庁海外メディア芸術祭等参加事業のインド企画展「The Medium as Somatic Impulse —身体的衝動としてのメディウム—」に再現展示され、現地で設営及びテクニカルを担当しました。 ・ダンスダンスダンスの連携事業として、コンテンポラリーダンスを美術制作に絡めて実施。ギャラリーらしいダンス事業となりました。 		
<p>[取組内容]</p> <p>●開館10周年記念 企画展 「あざみ野コンテンポラリー」(10月頃)</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□「あざみ野コンテンポラリー」 来場者3,000人以上 平均満足度4.6以上</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>●10/17～11/8 あざみ野コンテンポラリー vol.6 「もう一つの選択 Alternative Choice」 □来場者数：3,513人 ■平均満足度：4.66 (5点満点)</p> <p>[展示] 青山悟、斎藤玲児、友政麻理子、凌宗権、 和田昌宏、王坪</p> <p>[関連イベント] 11/1、7 学芸員によるギャラリートーク 11/6 友政麻理子自主制作映画上映会 ※以下、再掲 10/17 オープニングトーク、レセプション 10/18 WS「刺繍作家・青山悟と油絵を描こう！」 10/24 アーティストトーク#1「斎藤玲児、和田昌宏」 10/31 子どものための鑑賞会&ワークショップ 「展覧会を体験しよう！」 11/3 アーティストトーク#2「友政麻理子、青山悟」 11/7 アートなピクニック—視覚に障がいのある 人とない人が共に楽しむ鑑賞会</p>

<p>●「ダンスダンスダンス@ヨコハマ」連携事業</p>	<p>□「ダンスダンスダンス@ヨコハマ」連携事業 1回以上</p>	<p>●フェスティバル連携事業</p> <p>「おどるるる+▽▲▽?!わーくしょっぷ!!」</p> <p>□年 1事業 (WS: 8回、発表) ※事業数再掲</p> <p>[ワークショップ]</p> <p>5/16 踊ってみちゃう</p> <p>6/6 おパンツつくって踊っちゃう</p> <p>7/4 空間と遊んでみちゃう</p> <p>8/1、20~22 成果発表に向けての稽古・リハーサル</p> <p>[成果発表]</p> <p>8/23 あざみ野ナイト</p> <p>たるちょーたると紀行おぱんつ物語。</p>
------------------------------	-----------------------------------	--

オ カメラ・写真コレクションの展示・保存・調査研究・教育普及について

<p>[目指す成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コレクションを活用した鑑賞の機会を提供し、カメラ・写真ファンの要望に応えるとともに、市民に分かりやすくカメラや写真の歴史を伝え、カメラ・写真文化に親しんでいただけます。同時に、日本における写真発祥の地の一つといわれる横浜市の映像文化都市づくりに貢献します。 ・コレクションを最適な環境で保存し、貴重なコレクションを劣化させることなく、次代に引き継ぎます。 <p>[成果についての振り返り]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界で最初の写真集『自然の鉛筆』をテーマに、カメラと写真、関連資料約 270 点を紹介。新たな日本語訳が出版されたばかりの本書を丁寧に紐解きながら、写真のメディアとしての展開を探る展示となりました。 ・企画展は、本年度木村伊兵衛写真賞、日本写真協会賞新人賞（同協会主催）を続けて受賞した作家石川竜一の個展を開催。最初期のフォトグラムから最新作まで、9シリーズ約 450 点で 10 年間の活動を余すところなく紹介する展示は、メディアにも大きく取り上げられ、衆目を集めました。 ・共通した写真技法の作品を展示し、ワークショップを実施することで、統一感のある企画となりました。 		
<p>[取組内容]</p> <p>●「横浜市所蔵カメラ・写真コレクション+写真企画展」(2月)</p> <p>『フォト・ヨコハマ』の時期に合わせて実施</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□「横浜市所蔵カメラ・写真コレクション+写真企画展」</p> <p>来場者 3,000 人以上</p> <p>平均満足度4.6以上</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>●1/30~2/21 あざみ野フォト・アニュアル</p> <p>□来場者数: 5,851 人</p> <p>■平均満足度: 4.56 (5点満点) (未達)</p> <p>[展示]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えたときには、もう目の前にはない 石川竜一展 ・平成 27 年度コレクション展『自然の鉛筆』を読む <p>[関連イベント]</p> <p>2/7、21 学芸員によるギャラリートーク</p> <p>2/11 レクチャー「新訳『自然の鉛筆』を終えて」</p> <p>2/14 WS「タルボットの時代のフォトグラム」</p> <p>※以下、再掲</p> <p>1/30 アーティストトーク、レセプション</p> <p>2/20 あざみ野カレッジ「写真集ができるまで」</p>

		整を行いました。
--	--	----------

(2) 運営について

ア 市民の文化芸術活動の支援について

<p>[取組内容]</p> <p>●貸館 利用者の制作活動や発表の場で最大限の成果が得られるように支援</p> <p>●各種支援 施設利用者の広報協力ほか専門施設ならではの支援の実施</p> <p>●利用団体の展覧会情報をホームページや情報誌で紹介し、広報協力</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□アンケートによる展示室利用者の満足度 4.6以上</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>●貸館 ■平均満足度 展示室：4.70 (5点満点) アトリエ：4.43 (5点満点)</p> <p>展示室、アトリエの事前打合せを行い、展示方法のアドバイス、不明な点の解消や要望に応えるよう努めました。展示室内での演奏、茶席の設営などの要望には、当日の全館利用状況をみながら調整・実現を図っています。アトリエ利用は広さや交通の便で選ばれており、料金にはご意見をいただく結果となりました。</p> <p>●各種支援 従来のラックに加え、展覧会で多く作成されるハガキサイズのフライヤーラックを新設しました。見やすく、取りやすいと好評を得ています。</p> <p>●広報協力 広報誌「アートあざみ野」や施設ホームページトップに展示室、アトリエの利用を掲載。展示室については、会期中の会場写真もアップしました。</p>
--	--	--

イ 施設の利用促進を図る取り組みについて

<p>[取組内容]</p> <p>●アトリエの夜間利用料金割引による新規利用者開拓と利用促進</p> <p>●新たな割引制度を導入(高校生・大学生)</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□アトリエ利用目標利用率 コマ単位 61%、 日にち単位 93% 夜間コマ利用率 34%</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>夜間利用率は微増したものの、全体利用率目標を達成することができませんでした。利用促進を図るため、利用しやすい制度や割引について案をまとめ、提出・検討しました。</p> <p>■コマ単位：59%、日にち単位 87% (未達) ■夜間コマ利用率：38%</p>
--	---	--

ウ 利用者のニーズ・要望・苦情等への対応について

<p>[取組内容]</p> <p>●北部4区を対象に認知度調査を実施</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□市民ギャラリーあざみ野の横浜市北部地域における認知度 24%以上 (H26年度 22%)</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>調査会社と検討したところ、認知後調査は調査対象を同一にした定点調査で隔年実施するのが有効であり、26年度に実施したことから28年度に延期しました。</p> <p>□調査 翌年度に延期</p>
--	--	---

<p>●管理合同ミーティング、職員ミーティングによる情報共有及び適切な対応</p>	<p>■利用者のクレームや意見を館内職員で情報共有し、迅速な運営改善につなげます。</p>	<p>管理合同ミーティングを火曜日に行い、アートフォーラム全体でクレームや意見を共有、対応策を協議。迅速で公平な運営改善を実現しました。</p>
---	---	--

エ 運営組織、勤務シフト等について

<p>[取組内容]</p> <p>●専門職員、管理・運営職員ともに適切な人材を配置</p> <p>●適切かつ効果的な勤務体制を確立</p> <p>●切れ目のない責任体制の維持</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□人材の配置について</p> <p>館長 1人 副館長 1人 職員 8人 臨時職員 3～5人</p> <p>□勤務体制について</p> <p>基本： 早番（8：45～17：30）2名 遅番（12：30～21：15）2名 （全職員によるローテーション制）</p> <p>■繁閑に応じて柔軟なシフトを組み、職員のワークライフバランスに合わせた勤務と効率的な運営を両立させ、良質な利用者サービスを提供します。</p> <p>■館長・副館長不在時の代行者を明確にし、責任体制を維持</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>3期にあたり、当館の個性であるコンテンポラリーアート企画のレベルアップを図るため、主席学芸員を配置し、体制を強化しました。</p> <table border="1" data-bbox="853 638 1404 974"> <thead> <tr> <th>配置</th> <th>実績</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>副館長</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主席学芸員</td> <td>1</td> <td>学芸員</td> </tr> <tr> <td>職員</td> <td>7</td> <td>うち、学芸員 2人</td> </tr> <tr> <td>臨時職員</td> <td>4</td> <td>事務アルバイト、収蔵コレクション担当、アトリエ事業担当</td> </tr> </tbody> </table> <p>●勤務体制</p> <p>基本のローテーション制を軸に、施設利用状況や事業にあわせて増員。展示室の搬入・搬出日においては、施設貸出し担当者が立ち会うなど、利用者サービスを重視したシフトを組みました。</p> <p>●責任体制</p> <p>館長・副館長不在時の代行順位を決め、緊急時の責任体制、連絡手順を明確にしました</p>	配置	実績	備考	館長	1		副館長	1		主席学芸員	1	学芸員	職員	7	うち、学芸員 2人	臨時職員	4	事務アルバイト、収蔵コレクション担当、アトリエ事業担当
配置	実績	備考																		
館長	1																			
副館長	1																			
主席学芸員	1	学芸員																		
職員	7	うち、学芸員 2人																		
臨時職員	4	事務アルバイト、収蔵コレクション担当、アトリエ事業担当																		

(3) 管理について

ア 施設及び設備、備品の維持保全及び管理、小破修繕への取り組みについて

<p>[取組内容]</p> <p>○長寿命化、初期状態の維持を図る</p> <p>○センター横浜北、管理委託会社とともに建物・設備の保守管理を確実に、法定点検を遺漏ない</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□展示室壁面の年1回のメンテナンス(塗り直し)</p> <p>□電気・空調・衛生設備・昇降機を法定通り点検</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>管理合同ミーティングのなかで、施設や設備の不具合を共有。効率的で有効な修繕を実施しました。</p> <p>□展示壁面の補修・塗り直し 1回：3/28～30</p> <p>□可動壁のアジャスター脚の修理 1回：1/7</p> <p>□電気式陶芸釜の補修 1回：5/16</p> <p>□法定点検 実施</p>
--	--	---

<p>く実施</p> <p>○設備・備品の適切で効率的な維持保全及び管理により、良好な状態を保持</p> <p>○維持管理経費の適正化、削減についての方策検討</p>	<p>□AEDを設置し、センター横浜北、管理委託会社と共に職場内で年1回の操作研修を実施</p> <p>■横浜市が策定する「維持保全の手引き」および「施設管理者点検マニュアル」に基づく点検・報告を実施 修繕必要箇所（小破修繕）に迅速に対応します。</p> <p>■クレームの無い、快適な環境維持を目指します。</p> <p>□センター横浜北、管理委託会社と共に年1回の検討会を開催</p>	<p>業務の基準に基づく点検・清掃 実施</p> <p>□AED設置 2台 ※1台はセンター横浜北所有 操作研修・救急救命講習 1回：3/15</p> <p>設備管理業務を専門業者に委託し、横浜市が策定する手引きやマニュアル、業務の基準に沿って、専門的な知識に基づく施設管理を行っています。不具合は小さなうちに発見し、自ら修繕できるものは速やかに対応しました。</p> <p>管理合同ミーティングでエネルギー使用量削減の相談をするほか、10月、12月、2月に不具合リストを作成して、修繕の優先順位や時期、対応策を検討しました。修繕時期や方法の見直しにより、小額ではありませんが修繕額を削減することができました。</p> <p>□維持管理の検討会 3回</p>
---	--	---

イ カメラ・写真コレクションの適切な収蔵、保管について

<p>[取組内容]</p> <p>●適切な収蔵庫管理(温湿度管理、空気測定、喰害虫調査など)を実施</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□展示室内環境は、年間通して温度 20℃±2℃、湿度 50%±2%</p> <p>■pH 値を定期的に測定し、測定結果に応じたケミカルフィルターを設置</p> <p>□文化財喰害虫生息調査を年8回実施</p> <p>□月1回の庫内点検、定期的な清掃を実施</p> <p>■東京都写真美術館、日本カメラ博物館、横浜美術館などの専門機関と協力・連携</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>展示室内の空調管理、収蔵庫の空調やpH管理を行い、作品の収蔵に適した空気環境を整えました。収蔵庫が地下駐車場から展示室への搬入ルートに位置することから、周辺環境は望ましい状況にありません。喰害虫の入り込みに一層気を配り、出入りを制限しました。</p> <p>□展示室の温湿度管理 概ね計画通り 華展は作品保護により温度を下げる要望があり、対応しました。</p> <p>□文化財喰害虫生息調査 8回</p> <p>□庫内点検、定期清掃 毎月10日頃に実施</p> <p>■日本カメラ博物館とは日常的にコレクションの管理について相談しました。 東京藝術大学、寺田倉庫ほか専門家に声掛けをし、28年度から近現代美術の保管修復に関する共同研究を始めます。その準備と基調講演に参加しました。</p>
---	---	--

ウ 事故防止策・緊急時(防犯)の対応、防災に対する取り組みについて

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>○危機管理マニュアルの整備と事故防止</p> <p>○訓練や啓発活動などを通じた防災への取り組み</p>	<p>■これまで蓄積してきた各種マニュアルを常に見直し、新たな危機の想定など、必要に応じた更新・改訂をしていきます</p> <p>■常に全職員がマニュアルを理解するように定期的確認行動を図り、危機の際には「アートフォーラムあざみ野」全職員が一致して対応します。</p> <p>□センター横浜北との合同防災訓練を年2回実施。</p> <p>■帰宅困難者一時滞在施設として、対応訓練を年1回実施し、地域の防災拠点としての役割を担います。</p>	<p>人事異動に伴い、緊急連絡網や消防計画、機械警備マニュアルの見直しと、大地震や停電時のエレベータ動作フローの確認を行いました。また、クレーム対応の共有は、運営上の事故防止につながりました。</p> <p>□既存マニュアルの修正</p> <p>防災訓練にあわせ、横浜市への通報や伝言ダイヤルの利用手順を確認しました。3月に合同で嘔吐対応講習（ノロ研修）を実施。初期対応から清掃への引き継ぎまで連携して行動することを確認しました。</p> <p>上半期には消防設備の取扱いと帰宅困難者の対応を、下半期にはAEDの取扱いと救急救命研修を実施しました。</p> <p>□合同防災訓練 2回：9/1、3/15</p> <p>□備蓄食料等の確認、対応訓練 1回：9/1</p>

エ 個人情報保護・情報公開、人権尊重、環境への配慮、市内中小企業優先発注など、本市の重要施策を踏まえた取り組みについて

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●適正な個人情報保護、情報公開</p> <p>●省エネルギー、ごみ削減</p> <p>●市内業者への優先発注</p>	<p>■個人情報は規程及びマニュアルに基づき適切に取り扱います。</p> <p>■ゴミを適切に分別し、排出量を抑えます。利用者にはゴミの持ち帰りの原則を徹底し、必要な場合はゴミ袋を有料で販売します。</p> <p>□電気とガスの使用量を前年度並みに抑制します。</p> <p>■物品購入・委託等は、ア</p>	<p>コンプライアンス研修のほか、職員ミーティング等で注意喚起に努めました。マイナンバー収集に対応するためシステムを導入。実務に沿った研修、事務所に目隠しを作るなど、漏えい防止対策を行いました。</p> <p>□個人情報の保管 施錠管理、パスワードロック</p> <p>□マイナンバー対応マニュアルの新規作成、研修</p> <p>利用者にはゴミの持ち帰りをお願いし、事務所で発生するゴミも細かく分別して再利用を促進し、排出量を抑えました。</p> <p>□ゴミ排出量 前年の97.31%に削減</p> <p>猛暑で夏季使用量が一部増えましたが、空調運転を工夫して年間使用量を削減しました。</p> <p>□電気 前年の98.64%に削減</p> <p>□ガス 前年の88.75%に削減</p> <p>物品購入・業務委託等に当たっては、有資格者名簿を</p>

	<p>ティスト指定や市外業者のみが取り扱うものを除き、市内業者に発注します。</p>	<p>参考に複数業者に見積もりを取るなどし、市内業者への発注に努めました。</p>
--	--	---

(4) その他

ア 広報の充実について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●ホームページの内容を充実させ、最新の情報を発信</p> <p>●様々な広報媒体を活用</p> <p>○センター横浜北との広報協力</p>	<p>□ホームページ更新 週1回以上</p> <p>□ホームページアクセス件数年間50万件以上</p> <p>□メールマガジン 月1回の定期配信</p> <p>□情報誌「アートあざみ野」年3回以上発行</p> <p>□企画展の広報 交通広告を年3回掲出</p> <p>□無料媒体（フリーペーパー、「広報よこはま」など）月1回以上掲載</p> <p>■事業内容や想定対象層等を踏まえて、効果的な媒体を選択し、コストパフォーマンスの高い集中広報を行います。</p> <p>□センター横浜北との合同広報会議 月1回</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>施設ホームページに展示室やアトリエスケジュールを掲載しました。27年度から展示室の会場写真をアップするサービスをはじめ、来場者増につながりました。</p> <p>□ホームページ更新 週3回程度</p> <p>□アクセス数 TOP: 947,814件 ページ: 3,454,704件</p> <p>□メールマガジン発行 年30回配信 月1回の定期配信、ほか不定期配信</p> <p>□「アートあざみ野」4回発行: vol.25~28</p> <p>有料広報は交通広告に限定せず、検討し実施。</p> <p>□有料広報 こどもぎやらりい 雑誌: 1回 ミニコミ: 1回 あざみ野寄席 ミニコミ: 1回 親子のフリーゾーン 雑誌: 1回</p> <p>広報よこはま、フリーペーパー、ラジオの利用</p> <p>□無料媒体 年113回/月平均9.4回</p> <p>通年、10周年ロゴを使用。館内に掲示して開館10周年をPRしました。共同主催の「アートフォーラムフェスティバル2015」では、当日パンフレットを兼ねたリーフレットやフラッグを作成。広報先を持ち寄って周知に努めました。</p> <p>□合同広報会議 月1回以上、年17回</p>

5 収支について

指定管理料のみに依存しない収入構造、経費節減や効率的運営への努力について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●利用料金収入の安定的な確保</p> <p>●助成金・協賛金を獲得</p>	<p>□利用料金収入、負担金収入を年間1,300万円以上</p> <p>□助成金を2件以上申請し、</p>	<p>利用料金収入は目標達成することができませんでしたが、負担金収入（駐車場料金ほか）は増収しました。</p> <p>□収入合計 1,354万円</p> <p>助成金を2件申請しましたが、いずれも獲得できません</p>

<p>○経費削減、効率的運営</p>	<p>協賛金・広告料とあわせて 獲得目標 200 万円以上</p> <p>■センター横浜北とも協力 し、施設管理にかかる委託 費を前年度並みに抑制</p>	<p>んでした。協賛金や現物協賛獲得に努めましたが、25 万円達成できませんでした。</p> <p>□協賛金・広告料獲得 47 万円</p> <p>□物品協賛 128万円（プリント、飲料、渡航費）</p> <p>建物総合管理、設備保守、警備、受付、清掃業務委託 については、前年度並みに抑えることができました。</p> <p>築10年を超え、建物・設備・事務機器等の不具合が増 えたため、修繕費は増えています。</p>
--------------------	---	---

収支決算書

収入

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差額	備考
指定管理料	160,400,000	160,400,000	0	横浜市より
利用料金収入	9,347,000	8,843,050	▲503,950	展示室、アトリエの施設・ 附帯設備利用料
自主事業収入	4,400,000	4,685,840	285,840	入場料、講座料、事業協賛 金、助成金
雑入	4,176,000	4,731,846	555,846	利用者サービスに伴う収入
収入合計	178,323,000	178,660,736	337,736	

支出

科目	予算額	決算額	差額	備考
人件費	63,740,000	70,186,198	6,446,198	職員10人、臨時職員(常勤 1人+短時間アルバイト随時)
事務費	4,405,000	4,144,550	▲260,450	
事業費	36,400,000	29,977,944	▲6,422,056	自主事業、共催事業、アトリー チの経費。事業調査費
管理費	60,027,000	56,946,038	▲3,080,962	建物総合管理費、保守点検 費、修繕費、光熱水費
公租公課	6,251,000	6,141,718	▲109,282	消費税、印紙税、法人税
事務経費	6,900,000	6,900,000	0	間接事務費。総支出の約4%
ニーズ対応費	600,000	0	▲600,000	ニーズ対応費は、用途によ り各会計科目に計上
支出合計	178,323,000	174,296,448	▲4,026,552	

差引	0	4,364,288	4,364,288	
----	---	-----------	-----------	--

【別紙】自主事業一覧

1 市民の文化芸術活動の支援

No.	実施時期	主催 共催	事業名	会場	事業内容	入場者・ 参加者数 (人)	事業費 (千円)
1	5月7日 -7月23日	主催	市民のためのプログラム(入門編) 「はじめてのデッサン」	アトリエ	静物、人物のモチーフを鉛筆で時間をかけて描くことによって、デッサンの基礎を学ぶ講座。 1コース(6回講座)	146	359
2	11月2日 -12月21日	主催	市民のためのプログラム(入門編) 「はじめての透明水彩」	アトリエ	水彩画に挑戦したい人向け。基礎から丁寧に学び、静物や写真などを題材に、毎回一枚の絵を仕上げる。 1コース(6回講座)	106	309
3	1月15日 -3月18日	主催	市民のためのプログラム(入門編) 「金継ぎ入門」	アトリエ	割れたり欠けたりした陶磁器を漆で接着し、繕った部分を金で装飾する「金継ぎ」。持参の器を使って、本漆を使った接着や穴埋め、塗り、金粉蒔きまで体験する。 1コース(6回講座)	107	308
4	4月8日 -3月23日	主催	市民のためのプログラム(初級～ 中級編) 「ヌードクロッキー」	アトリエ	参加者が様々な画材で自主的に制作できる人気の講座。5分、10分、20分と時間をかけて、いろいろなポーズを描く。 5コース(各4回講座)	337	434
5	10月18日	主催	アーティストに学ぶ 市民のためのプログラム 「刺繍作家・青山 悟と油絵を描こう！」	アトリエ	あざみ野コンテンポラリーvol.6 関連ワークショップ 刺繍作家・青山 悟を講師に油絵を描き、出品作品《About Painting》同様、縦軸を保守的から急進的、横軸を個人的から社会的とした座標軸の中に位置づける。楽しく絵を描きつつ、美術独自の見方を体験する。	12	21
6	11月21日 -1月9日	主催	アーティストに学ぶ 市民のためのプログラム 「乳喫茶」	アトリエ	ショーケースギャラリー 金理有展「チヨリ テトチテ」関連ワークショップ 人が喜ぶ、笑う、愉しむ、ホッとするような抹茶碗を作り、最後にみんなで茶会を楽しむ。 1コース(4回講座)	37	153
7	5月30日 7月26日 10月25日 1月16日 2月20日	主催	あざみ野カレッジ(文化、芸術等)	アトリエ	アート関係を含む多彩な講師を迎え、生活の中にある様々なアートや最新の情報を学ぶ。 5講座/5回 ① デザインで伝える いきもの の世界 ② 街を描いて街を知る～みんなで描いた身近な街の絵は街の宝物～ ③ 「わからない」からのスタート！ 現代アート鑑賞 はじめの一歩 ④ 演出家が語る“総合芸術”オペラのあれこれ ⑤ あざみ野フォト・アニュアル 関連特別企画「写真集ができるまで」	180	388
8	11月2日 12月12日	主催	あざみ野カレッジ(地域、自然等)	アトリエ他	地域の方を講師に迎え、生活を豊かにする情報や知識、活動を紹介する。 2講座/2回 ① 米づくりから始まる 日本酒の物語 ② よみがえる！ なつかしの歌声喫茶 ～歌謡フォークを歌おう～	61	137
9	8月9日 3月26日	主催	あざみ野サロン(音楽系)	レクチャールーム 他	美術以外の舞台系事業及び女性性をテーマに、アートフォーラムあざみ野の賑わい創出や新たな顧客開拓を目的としたセンター横浜北との共催企画。センター横浜北制作でも1事業実施。 音楽系:2事業 ① 日用品で音楽会 ② 春よ 来い～大山大輔と沼尾みゆきの～	252	1171
10	9月18日 10月3日 10月25日 11月7日	主催	あざみ野サロン(映像、舞台系)	アトリエ他	美術以外の映像系、舞台系事業及び女性性をテーマに、アートフォーラムあざみ野の賑わい創出や新たな顧客開拓を目的としたセンター横浜北との共催企画。 映像系:2事業、舞台系:1事業、講演:1事業 ① あざみ野アートシネマ vol.1 アルゴス・コレクションの精髓:ベルギーの実験映画 ② あざみ野寄席 金原季馬玉 独演会 ③ 五大路子講演会 夢を紡いで～横浜ローザとともに～ (センター横浜北制作) ④ あざみ野アートシネマ vol.2 鈴木光 特集上映会	348	618
11	5月26日 -7月3日 6月11日 8月29日 11月27日 -12月12日	主催 ③共催	地域アウトリーチ事業	施設外	地域で活躍する市民と協働し、アートを通じた市民の交流、まちの賑わいづくり、コミュニティ活性化を目指す。 4回 ① 写真ワークショップ@山内小学校 ② ちくちく地区外国語版@つづきMYプラザ ③ あざみ野まつり@小学校予定地 ④ フェローアートギャラリーvol.20 特別展示@岩間市民プラザ	30,585	241

2 子どもたちをはじめとする、次世代育成

No.	実施時期	主催 共催	事業名	会場	事業内容	入場者・ 参加者数 (人)	事業費 (千円)
1	7月31日 -8月9日	主催	あざみ野こどもぎやらい2015	展示室1・2	子どもから大人まで楽しめる内容の、自由参加型のワークショップもある 展示会。 子どものためのプログラム ・展示 ① あざみのふたご森 ② 夏の音楽ジッケン室 ③ ちくちく地区の“かたちたち” ④ 「自分の思いと写真」展 ・ワークショップ ⑤ あざみのふたご森(7/31、8/1、3~9) ⑥ 夏の音楽ジッケン室(7/11、8/1、8/7~9) ⑦ あざみ野サロン「日用品で音楽会」(8/9) ⑧ 事前アウトリーチ、サポーター活動 ・市民協働(素材あつめ) ⑨ ふたごのこぼれ、古着の募集	3,583	3,077
2	4月8日 -3月23日	主催	親子のフリーゾーン	アトリエ	えのぐ、ねんど、かみをつけて親子で自由に遊べる造形広場。 毎月3回+1回、計37回	10,521	2,361
3	4月18日 -3月30日	主催	親子で造形ピクニック 学校利用	アトリエ	特別支援学校や個別支援学級に通う子ども(と保護者)を対象に自分の好きな素材で造形を楽しむワークショップ。併せて、養護学校や特別支援学級を受入れ、アトリエでの美術造形活動プログラムを無償提供しました。 ① 親子で造形ピクニック 毎月1回 ② 学校利用 年間15校、延べ18団体	592	101
4	5月31日 11月15日 1月11日 6月28日 12月6日 3月13日	主催	幼児向けプログラム 「やってみよう」「みんなであそぼう」	アトリエ	絵具、粘土、紙などの素材に親しみながら、自己表現したくなる気持ちを育む造形講座(年中・年長対象)。年6回 ・やってみよう ① 見て、さわって、描く ② ホチキスでとめて、とめて ③ 焼き物をつくろう! ・みんなであそぼう ① えのぐであそぼう! ② ねんどであそぼう! ③ つなげて、ならべてあそぼう!	127	508
5	4月29日 7月12日 8月18日-20日 9月19-20日 10月12日 2月28日	主催	児童向けプログラム 「つくってみよう」「〇〇に挑戦」	アトリエ	様々な素材に触れて作品を作ったり、時間をかけて技法に挑戦したりする造形講座。 年6事業、9回 ① ペーパーフラワーをつくろう! ② パステルをつくろう! ③ スイカを描く木版画教室 ④ ピンホール写真を撮ろう! ⑤ ぶらさがり人形をつくろう! ⑥ フェルトをつくろう!	137	473
6	10月31日 2月13日	主催	子どものための鑑賞ワークショップ	展示室 アトリエ	展示会を鑑賞して、技法の体験などを交え、鑑賞への理解を深める。 ① あざみ野コンテンポラリーvol.6「展示会を体験しよう!」 ② あざみ野フォト・アニュアル「フォトグラムをつくろう!」	7	75
7	9月28-30日 10月1・6・14日 11月11・16日 1月 15・19・21日	主催	「横浜市芸術文化教育プログラム」連携アウトリーチ	各学校	「横浜市芸術文化教育プログラム」に参加し、近隣の小中学校を中心に美術、カメラ・写真に関連するアウトリーチ事業を実施する。4校実施 横浜市芸術文化教育プラットフォーム ・美術 ① 廣島佐映子(うめぐみ) 造形 ② ドゥイ 造形 ③ 廣島佐映子(うめぐみ) 造形 ・舞踊 ④ 梶本はるか コンテンポラリーダンス	487	527
8	7月4-5日 12月19-20日	主催	アートサポーターによるワークショップ	エントランスロビー	市民が講師になって子どもたちや市民がワークショップ等を行い、楽しく交流するイベント。 ①七夕飾りをつくろう ②みんなでつくる、あったかクリスマス	360	121
9	7月31日	主催	学校アウトリーチ事業 先生のためのワークショップ	アトリエ	小・中・高校の美術の先生と連携して行う、教育現場での次世代育成をサポートする事業。 横浜市立中学校美術研究会 夏期研修「アニメーションの活動」	20	0

3 アーティスト・クリエイターの支援と創造性を活かしたまちづくり

No.	実施時期	主催 共催	事業名	会場	事業内容	入場者・ 参加者数 (人)	事業費 (千円)
1	10月17日 10月18日 10月24日 10月31日 11月3日 1月30日	主催	企画展関連のワークショップ、 トークイベント 交流会	展示室、アトリエ他	企画展会期中の出品作家のトークイベント、インタビュー映像の上映、 作家自身が講師となって市民と一緒に作品制作を体験するワー クショップなど。市民やアートサポーターとの交流の場。 「あざみ野コンテンポラリーvol.6」 ① オープニングトーク、レセプション ② WS「刺繍作家・青山悟と油絵を描こう！」 ③ アーティストトーク#1「斎藤玲児、和田昌宏」 ④ アーティストトーク#2「友政麻理子、青山悟」 「あざみ野フォト・アニュアル」 ⑤ アーティストトーク、レセプション	413	各企画展 に計上
2	4月11日 -3月20日	主催	ショーケースギャラリー	エントランスロビー	エントランスロビーに設置した展示ケースで新進アーティストの小品展を 実施し、紹介する。 年4回、4人のアーティストを紹介、③については、ワークショップも実施 した。 ① 4/11-7/2 橋本典久展「箱の中の箱」 ② 9/26-11/16 山田裕介展「無意識の彫刻(質量の変わらない世界)」 ③ 11/21-1/17 金理有展「チヨリ チトチチ」 ④ 1/23-3/20 橋本展	—	704
3	5月3日 -4月18日	主催	フェローアートギャラリー	2階ラウンジ	障がいのある人たちの多様な表現を展示、紹介することを通じて、障が いのあるなしを超えた豊かな関係性が築かれていくことを目指す。年4 回 ① 5/3-7/24 アトリエjet's 岡田隆之展 ② 7/26-10/3 尾崎文彦展「むふふなカタチ」 ③ 10/5-1/9 中道一輝展 ④ 1/11-4/18 飯塚二郎展	—	574
4	2月1-7日	主催	ミニギャラリー	1階交流ラウンジ	センター北が管理する1階交流ラウンジのミニギャラリーで地域で活動 するNPO団体の活動を紹介するパネルや使用しているおもちゃを展示 2/1~7 あおばおもちゃのひろば活動展	—	38
5	4月12日 -3月27日	主催	ロビーコンサート	エントランスロビー	男女共同参画センター横浜北と共催で行う、市民ギャラリーあざみ野制 作事業。 横浜市民広間演奏会のメンバーや地域の方々、クリスマスジュニアコー ラスにも出演いただき、気軽に楽しいコンサート。 25回(月2回、第2・4日曜日+クリスマス)	2,462	961
6	11月3日 -12月23日	主催	クリスマスジュニアコーラス	アトリエ、ロビー他	小学生対象の合唱ワークショップ。小学生を対象に、2ヶ月間歌を練習 してクリスマス時期のロビーコンサートに出演。学年も学校もさまざまな 子どもたちが集まって、ひとつの音楽を作り上げてゆく過程で、一緒に 歌う楽しさ・音楽の喜びを知ってもらう。	288	420
7	①5月31日 8月5日 10月25日 11月26日 ②4月26日 8月28日 8月2日 12月6日 1月17日	主催	あざみ野マルシェ/アートワゴン	エントランスロビー	男女共同参画センター横浜北と共催で行う、ギャラリー制作事業。福祉 施設の活動を紹介。障がい者が育てた野菜やカラダにやさしい食品、 アートな表現がひかる作品を市民に届け、大勢のお客様で賑わいまし た。 ① 障がいのある方々が作った美味しい品物がずらりと並ぶ「あざみ野 マルシェ」4回 ② アーティストや福祉施設の特設ショップ「あざみ野アートワゴン」5 回 その他、9月18-20日赤レンガ倉庫でのマルシェ開催にあたり、準備と団 体調整をお手伝いしました。(延11団体)	41	268
8	10月25日	主催	アートフォーラムフェスティバル 2015	アートフォーラム 全館	男女参画センター横浜北と合同で行う、全館挙げてのお祭り。	3,764	362
9	7月14-26日	共催	横浜北部美術公募展2015	展示室1・2	港北区・緑区・青葉区・都筑区の、横浜北部美術公募展実行委員会と の共催事業。 当館の開館を受け、横浜北部地域での美術に親しみ創作する環境の 醸成を目指し、開催されている公募展。	4,749	0
10	12月1日 -12月13日	共催	青葉区民芸術祭 作品展	展示室1・2	青葉ふるさと協議会および青葉区民芸術祭運営委員会との共催事業。 青葉区在住・在勤・在学の方、または主な活動拠点が青葉区内にある 文化団体による、絵画・書道・文芸・華道・写真・美術工芸展示および茶 席。	1,828	0
11	4月~3月	共催	大学連携 ① 国学院大学、 横浜桐蔭大学 ② 城西国際大学 ③ 東京芸術大学	施設内外	横浜北部地域の大学と連携し、インターンの受け入れやイベントへの協 力、協働して施設とまちの魅力づくり活動を実施。 市外の大学を含め、4校と実施	—	0
12	通年	共催	職場体験	施設内外	職場体験、ジョブシャドー研修、バリアフリー教育等に協力。5校。 ① 田園調布雙葉高校 ② 鶴見工業高校 ③ 山内小学校 ④ 東山田小学校 ⑤ 黒須田小学校	255	

4 横浜らしい先進的な文化芸術の市民への発信

No.	実施時期	主催 共催	事業名	会場	事業内容	入場者・ 参加者数 (人)	事業費 (千円)
1	10月17日 -11月8日	主催	開館10周年記念 あざみ野コンテンポラリー vol.6 「もう一つの選択 Alternative Choice」	展示室1・2	現在のアーティストのさまざまな表現活動を紹介する展覧会。映像作品を主に、日本と中国の作家を取り上げた。 【展示】 青山悟、斎藤玲児、友政麻理子、凌宗権、和田昌宏、王坪 【関連イベント】 11/1、7 学芸員によるギャラリートーク 11/6 友政麻理子自主制作映画上映会 ※以下、再掲 10/17 オープニングトーク、レセプション 10/18 WS「刺繍作家・青山悟と油絵を描こう！」 10/24 アーティストトーク#1「斎藤玲児、和田昌宏」 10/31 子どものための鑑賞会&ワークショップ 「展覧会を体験しよう！」 11/3 アーティストトーク#2「友政麻理子、青山悟」 11/7 アートなピクニックー視覚に障がいのある人とない人が共に楽しむ鑑賞会	3,513	5,384
2	11月7日 2月6日	主催	アートなピクニック	展示室1・2	視覚障がいのある方とない方が一緒に会話を楽しみながら企画展を観る鑑賞会 ① あざみ野コンテンポラリー vol.6「もう一つの選択 Alternative Choice」 ② あざみ野フォト・アニュアル「石川竜一展」	28	0
3	5月16日 -8月23日	主催	フェスティバル連携事業 あざみ野ダンスワークショップ & 成果発表	アートフォーラム 全館	「ダンス・ダンス・ダンス@ヨコハマ2015」と連携する、新進気鋭のダンサー、振付家によるワークショップと成果発表。 ・ワークショップ ① 踊ってみちゃう ② おパンツつけて踊っちゃう ③ 空間と遊んでみちゃう ④ 成果発表に向けての稽古・リハーサル ・成果発表 あざみ野ナイト たるちよーたると紀行おぼんつ物語。	224	788

5 カメラ・写真コレクションの展示・保存・調査研究・教育普及

No.	実施時期	主催 共催	事業名	会場	事業内容	入場者・ 参加者数 (人)	事業費 (千円)
1	1月30日 -2月21日	主催	あざみ野フォトアニュアル コレクション展 『自然の鉛筆』を読む	展示室1・2	写真黎明期のカメラや写真を収蔵品のなかから展示。 世界で最初の写真集『自然の鉛筆』を紐解きながら、技術の進歩や写真のメディアとしての展開を探る展示を行った。	5,851	2,156
2	1月30日 -2月21日	主催	あざみ野フォト・アニュアル 企画展 考えたときには、もう目の前には ない 石川竜一展	展示室1・2	独自の写真表現で現代を切り取り、新たな写真の可能性を探るアーティストたちの企画展。 本年度木村伊兵衛写真賞、日本写真協会賞新人賞を続けて受賞した注目の作家、石川竜一の最初期のフォトグラムから最新作まで余すところなく紹介する個展を開催しました。	5,851	3,288
3	1月30日 -2月21日	主催	あざみ野フォトアニュアル関連 ワークショップ	アトリエ他	フォト・アニュアル開催に伴い、トーク、レクチャー、ワークショップを実施しました。 共通 2/7、21 学芸員によるギャラリートーク コレクション展関連 2/11 レクチャー「新訳『自然の鉛筆』を終えて」 2/14 WS「タルボットの時代のフォトグラム」 ※以下、再掲 2/13 子どものための鑑賞会&ワークショップ 「フォトグラムをつくらう！」 「石川竜一展」関連 1/30 アーティストトーク、レセプション 2/6 アートなピクニック ー視覚に障がいのある人とない人が共に楽しむ鑑賞会 2/20 あざみ野カレッジ「写真集ができるまで」	125	109
4	4月25日 -5月17日	主催	ロビー展示 「カメラのしくみ」	エントランスロビー	カメラの内部構造など、しよみのわかる資料を公開。カメラ・写真のワークショップの開催時期にあわせて展示しました。	—	7
5	10月3日 -10月25日	主催	ロビー展示 「カメラの原型 プロトタイプ」	エントランスロビー	製品化されるまで、何度も製作される「プロトタイプ」。様々なカメラのプロトタイプと、そのプロトタイプをもとに実際に製造・販売されたカメラをあわせて展示。	—	27
6	10月27日 -11月16日	主催	ロビー展示 「カメラの眼ーレンズ」	エントランスロビー	写真を撮影するうえで、写る範囲を決め、構図や画質を左右するレンズ。収蔵品のカメラやレンズで、そのしくみや種類を解説。	—	3

7	2月27日 -3月21日	主催	ロビー展示 「機能合体体験カメラ」	エントランスロビー	ラジオ、化粧品、シャープペンシルなど、その時々世相を反映した先端のツールと合体したカメラを紹介しました。	—	9
8	通年	主催	カメラ・写真コレクションの 管理・修復	—	写真コレクションの調査を進めながら、保存方法をみなおしました。 ・写真を安全に収蔵するため、割れやすい額から外せる作品を外しました。 ・混載保管され潰れやすくなっていた紙資料を取出し、紙保管に適した中性紙箱に収納。	—	1,092
9	通年	主催	データベースの整備 (一次)	—	作品の保管状態を点検・改善しながら作業を行いました。不正確な目録を調査、補完して修正しています。 カメラ: 100%、カメラ以外: 90%	—	451
10	通年	主催	データベースの整備 (二次)	—	パイロット版100点について、リンクト・オープン・データとしてホームページ提供するための調整を行いました。	—	0
11	4月14日 -6月9日	主催	市民のためのプログラム(入門編) 「やさしく、たのしいデジタル一眼カメラ」	アトリエ、野外撮影 カメラ	初心者対象講座。カメラの仕組みや扱い方を学び、自分の撮りたい表現に近づけるように、レクチャーと実技を通じてプロの写真家が指導しました。 1コース(5回講座)	70	223
12	通年	主催	ギャラリー オン ザ ウェブ	—	1点ずつ紹介するスタイルから、ウェブ上で広く公開し、情報共有しやすい「リンクト・オープン・データ」としてホームページ提供するスタイルに変更。パイロット版データベースの作成し、データ調整を行いました。	—	0
13	通年	主催	ギャラリー オン ザ マガジン	—	「アートあぞみ野」に、カメラ・写真コレクションから資料を選択し、わかりやすい解説を載せて紹介しました。年4回 「ライカ I A」、「ハイベルゴン・レンズ」、「ベッツパールレンズ」、「カルト・ド・ヴィジットと多眼カメラ」	—	0
14	通年	主催	情報誌「アートあぞみ野」	—	当館主催事業・賞館情報などの広報誌 4回発行	—	1,732